

ヨコハマ市民まち普請事業

第1次整備提案書



※ 記入上の注意

- ① 3号様式はページを増やさず、必ず2ページ以内でまとめてください。
- ② 3号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。
- ③ 位置図及び現況写真以外に、整備提案のイメージ図などの資料をA4判2ページまで添付することができます。その際、資料の両側に15mm以上余白を確保してください。

整備提案名 (25字以内)	鶴見川大曲、花と緑と水の広場づくり
提案グループ名 (25字以内)	駒岡連合町会大曲広場整備実行委員会
グループの現在の主な活動内容及び最近5年以内の活動実績	駒岡5丁目、コスモス・サルビアの花畑(8m x 100m)の整備 駒岡3丁目、兜塚公園の整備、サツマイモなどの農業体験 駒岡小学校、昔遊びの指導 上記の活動は連合町会として行っている
整備場所の所在地 (町名又は丁目まで記入)	鶴見区 駒岡5丁目地先 ※位置図及び現況写真(各A4判1ページ)を添付してください。
整備提案の内容 (どのような整備を提案するのか文章で記入してください)	鶴見川鷹野大橋上流約300mの河川敷に、およそ幅30m長さ110mの範囲で多目的グラウンドと花畑を作る。利用案内の立看板、器材置場の設置。 多目的グラウンドでは、ゲートボール、グラウンドゴルフ、また子供たちの遊び学ぶスペース(一輪車、フットサル、校外活動等)として利用する。 花畑としては、コスモス、サルビアなどを植え、鑑賞会を行う。 ユニバーサルデザインを取り入れ、多くの人が利用できるようにする。 国土交通省がH20年度整備を予定している防災船着場を一体的に利用してつり大会、筏やカヌー体験ができる。 船着場には取水口の設置を要望し、防災用水利とする。 整備費用の概算額：約 500万円 ※添付資料として整備提案のイメージ図を添付することができます。(記入上の注意③)
整備提案の動機や背景 (整備に対する地域のニーズや整備によって解決したい地域の課題、整備の必要性などに触れながら箇条書きで記入してください)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 駒岡地区は鶴見川に広く隣接し、かつては川の恵みを生かして農業で栄え、子供たちは川、丘、水田を成長の場にしてきた。当時は氾濫の危険に悩まされたが今では改修され、大曲周辺は河川敷も広く豊かな自然を残している。 ◆ 現在は宅地化が進み、鶴見川は地域の生活から隔離され、子供たちの遊びもゲーム機など屋内個人遊びが中心となり、集団での遊び、世代間交流及び川など身近な自然に親しむ機会が激減している。 ◆ 高齢者は増加しているが、宅地化の影響で、ゲートボール、グラウンドゴルフなどに適した広場が減少しており、また、子供に外遊びをさせるのにふさわしい場所も少ない。 ◆ 現在、近隣の水路沿いにコスモス、サルビアの花畑を地域で作っているが、規模を拡大し、大勢で花づくりに関わり、景観を楽しめるようにしたい。 ◆ 大規模マンションの建設による人口の急増もあり、新しく加わった住民が地域の環境や暮らし方になじみ、地域の一員になってゆくためのコミュニケーションの必要性が高まっている。 ◆ 駒岡地区は防災意識が高く、消防団がOBを含め100名ほどおり、ポンプ、消防設備を使える人的な資源があるので、鶴見川の防災用の水利を確保できれば、きわめて大きな備えとすることができる。 ◆ 提案場所の川岸に大規模災害時の緊急物資搬入を目的とする防災船着場建設の計画があり、物資輸送や仮置場として大きな役割を果たす。

<p>整備の効果 (整備したい施設がどのような人たちに利用され、地域にどのように貢献すると考えますか?)</p>	<p>子供たちの外遊びの普及。 水辺の生物を通して自然環境に触れる体験や学習が身近に、安全にできるようになる。 近隣の学校の校外学習の場ともなりえる。 高齢者のスポーツ広場不足を解消。 川を生かしたイベントで地域交流、世代間交流を活性化する。 防災用水利の確保で、緊急時に備える。また、火災時の避難場所、防災訓練の場所として役立つ。</p>
<p>整備した施設の維持管理・運営 (整備した施設の維持管理や運営に、提案グループや地域住民等がどのようにかかわっていきますか?)</p>	<p>維持管理は連合町内会の管理下、学校、PTAなどと密接に連絡をとり、利用の調整、運用を目的とした新たな組織を作る。 組織の設置に当たっては、整備の段階から広く地域から募集し、この広場に関わってもらおう工夫を行う。また、利用、維持管理のルールを作る。 年間を通して定期的な清掃やグラウンド、花畑などの手入れをする。 特に団体利用者には利用後の清掃を周知徹底させる。</p>
<p>○提案内容におけるアイデアやユニークさ ○提案を実現するために活用する地域の資源 注4) ○その他提案について特にPRしたい点</p>	<p>この広場は鶴見川と防災船着場に隣接することを十分に生かすことによって、以下のような複合的な効果が期待できる。 ① スポーツ、リクリエーション、景観を楽しむ場所としての利用 ② 筏やカヌー体験、つり大会などのイベントの場として地域交流に貢献 ③ 防災訓練の場になり災害時への備えとして重要な機能をもつ ④ 住民の、生態系・水資源・自然保護・環境問題への関心を高める 農業経験者が多く、その知識、技能の提供を受け、用具・器具の借用もできる。 地域防災の人的資源が豊かで、この広場を地域ぐるみの防災強化に役立てることができる。 すでに鶴見川を利用した校外学習を実施している鶴見養護学校、駒岡小学校が、提案作成の段階から積極的に参加している。花畑等の整備においては、これら学校子どもたち、PTA、地域の人々の参加で植栽等の作業を一緒に行う。 大型園芸店、造園業者、建材業者があり、技術面での協力を得た上で、安価な購入ができる。 連合町会から維持費の資金援助を得られる。 鶴見川水系河川整備計画のゾーン配置では広場利用ゾーンに位置づけられており、その実現に寄与する。</p>

注4)「地域の資源」とは、次のようなものを想定しています。

- 「ヒト」の例
 - ・地域のPTAから協力を受けられそう。
 - ・地域に設計の専門家がいる。
- 「モノ」の例
 - ・整備に必要な材料を安く入手できそう。
 - ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。
- 「カネ」の例
 - ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。
 - ・バザーなどで資金を集められそう。

整備場所の地権者等注5)への提案内容及びコンテストに応募することについての説明状況	
説明の相手方	相手方の意見等
国土交通省京浜河川事務所流域調整課	打ち合わせ日程調整中

注5) 土地・建物を所有している、借りている、又は実質的に使用権利を持つ者(会社や行政機関も含む)

記載内容について、次の内容を確認後チェックボックスに✓を入れてください。

- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報含まれていません。



